



世界の環境首都を目指す

北九州市は、公害克服の経験とその過程で培ったノウハウを生かし、国際貢献やリサイクルの取り組みを推進してきました。その後、それらの取り組みを、地球温暖化対策・低炭素化社会、さらには脱炭素社会実現へと拡大させ、世界の環境首都を目指した歩みを進めています。

環境首都への取り組み | 01

“ 北九州市グリーン成長戦略 ”

「環境と経済の好循環」による新たな成長に向けて、産業都市として「エネルギーの脱炭素化」と「イノベーションの推進」に戦略的に取り組むとともに、その知見を活用して、快適で脱炭素なまちづくりや海外ビジネスの展開にも取り組みます。右記のような施策実施により、2030年度までに約5,900～6,800億円の直接投資、約93万トンのCO₂削減を見込んでいます。

- 風力発電や第三者所有方式による太陽光発電の導入、水素の供給・利活用拠点化による脱炭素エネルギーの安定供給の体制構築および市内産業の脱炭素化の推進
- 風力関連産業の総合拠点化や太陽光・蓄電池のリユース・リサイクル産業などの新産業の創出
- イノベーションの創出に向けた企業支援の実施 など

■ 脱炭素先行地域に選定

令和4年4月、北九州市と周辺の17市町でつくる北九州都市圏域が脱炭素先行地域に選ばれました。今後は、都市圏域で連携を図り、公共施設での太陽光発電や蓄電池の導入、新産業の育成などに取り組み、脱炭素なまちづくりを進めていきます。



■ 全国初の取り組み！

「自治体－企業間EVシェアリング実証事業」

自治体と企業間でEV（電気自動車）をシェアリング利用する実証事業をスタートしました。これにより、電気自動車の低コスト導入モデルの構築を目指します。



■ コクラ・クロサキリビテーション

小倉・黒崎の拠点エリアでは、民間開発の誘導と企業誘致の促進を重点的に図るため、ビルの建替費の補助や、容積率・駐車場などの規制緩和を行う「コクラ・クロサキリビテーション」をスタートしました。

この取り組みを進めることで、安全安心で魅力ある街をつくり、若者に好まれるIT企業の誘致や、快適で環境にやさしい「グリーンスマートビル」の普及など、「ゼロ・カーボンシティ」や「SDGs未来都市」の実現を目指します。

小倉地区のリーディングプロジェクト

グリーンスマートビル「BIZIA小倉」の建設

外観のイメージ

環境首都への取り組み | 02

“ 再生可能エネルギーの導入促進（洋上風力発電の導入、人材育成等） ”



北九州市は、2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて、風力発電関連産業の総合拠点化を推進しており、響灘一般海域における洋上風力発電の導入可能性調査を行っています。また、風力発電関連産業を支える人材の「育成」と「確保」に向けて、「北九州市洋上風力キャンプ×SDGs」による人材育成や「北九州市風力発電人材育成連絡会」を通じた人材確保を産学官の連携により進めています。

◀ 高校生向け研修（洋上風力発電施設見学）

環境首都への取り組み | 03

“ 北九州エコタウン事業 ”

資源循環型社会の構築を図るため、「環境保全政策」と「産業復興」を統合した独自の地域政策として、日本最大級である「北九州エコタウン事業」を推進しています。若松区の響灘地区などに、さまざまなリサイクル関連企業が立地し、基礎研究から事業化まで一貫した取り組みが進められています。

北九州市エコタウンセンターHP▶



環境首都への取り組み | 04

“ 国際技術協力 ”

長年にわたる「ものづくりのまち」としての産業基盤や技術力、公害克服の過程で培われた人材・技術・ノウハウなどを生かした技術指導や技術支援により、開発途上国などの持続可能な発展に貢献しています。



▲ 水道水供給の技術支援（カンボジア）



▲ 生ごみコンポスト化協力事業（インドネシア）